

リーグ戦における「6大学制」の試合方法について

「6大学制」の試合方法について

- リーグ戦（2パート制）後、リーグ1位・2位大学は、クライマックスシリーズ：トーナメント方式へ
- 入れ替え戦：2大学方式（自動昇格・降格、及び入れ替え戦）
- 新3部については、トーナメント制で実施。

【リーグ（2パート制）後、クライマックスシリーズ：トーナメント方式】※①～⑫は対戦数

**リーグ戦（Ⅰ・Ⅱ：2パート制）：新1部リーグ、新2部リーグ**

6大学制

1位：A1大学、2位：B1大学、3位：C1大学、4位：D1大学、5位：E1大学、6位：F1大学

リーグⅠ <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">A1大学</span> 第1シード				リーグⅡ <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">B1大学</span> 第2シード			
	A1大学	C1大学	F1大学		B1大学	D1大学	E1大学
1位	A1大学	③	①	2位	B1大学	④	②
3位	C1大学		⑤	4位	D1大学		⑥
6位	F1大学			5位	E1大学		

各リーグに対し、6大学のどの大学が入るかは要検討。今大会は、「1部リーグⅠ」には「1位・3位・6位」、「1部リーグⅡ」には「2位・4位・5位」を配置する。

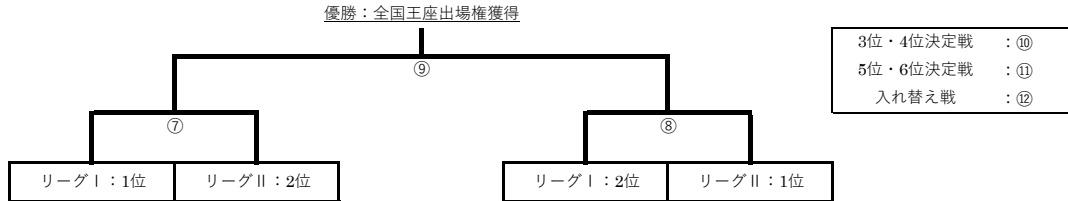
リーグについては6大学を2パート（Ⅰ・Ⅱ）に分ける。なお、前年度1位大学のリーグⅠ（予定）には、前年度3位大学、6位大学、前年度2位大学のリーグⅡ（予定）には、前年度4位大学、6位大学の3チーム総当たり戦（各大学2試合）を行う。例えば新1部リーグでは、リーグⅠ・Ⅱにおいて、リーグⅠ・Ⅱにおいて、1位、2位が「クライマックスシリーズ」に進出し、トーナメント方式にて「全国王座出場権」を獲得する試合を行う。また、「クライマックスシリーズ1回戦敗退」の2大学については「リーグ3位・4位順位決定戦」、リーグⅠ・Ⅱの3位の2大学は、「入れ替え戦⇒勝ち：下部リーグ2位との入れ替え戦へ、負け：下部リーグ自動降格」を行う。

なお、新2部リーグについても、「リーグ（2パート制）後、クライマックスシリーズ：トーナメント方式」で実施、新3部については、トーナメント戦を実施する。

以上の対戦により、新1部・2部については、最大4対戦、最小3対戦となる。

**クライマックスシリーズ：新1部リーグ、新2部リーグ**

※以下のトーナメントについては「新1部リーグ」。



**【新1部リーグの場合】**

クライマックスシリーズ：決勝戦（⑨）

優勝（1部1位）大学は「全国王座出場権獲得」及び次年度の「第1シード」、準優勝大学は「全国王座出場権 補欠大学」、次年度の「第2シード」。

クライマックスシリーズ：1回戦（⑦、⑧）

1回戦、勝者大学（2チーム）は、決勝戦へ進出。1回戦敗退チーム（2大学）は、「1部リーグ3位・4位」決定戦（⑩）へ。

1部リーグ（Ⅰ、Ⅱ）の3位チームは、「1部リーグ5位・6位」決定戦（⑪）へ。結果、1部リーグ5位：2部リーグ2位と「入れ替え戦」へ、1部リーグ6位：2部リーグ降格。

入れ替え戦（⑫）：1部リーグ5位と2部リーグ2位の対戦。

**入れ替え戦：新1部リーグ、新2部リーグ、新3部トーナメント**

「入れ替え戦」については、基本的に今回の「リーグ戦改革」は「リーグの活性化」がベースであることから、「2大学制」を取り入れる。

そこで、上述しているとおり、「リーグ5位」の大学は、「下部リーグ2位」と「入れ替え戦」を行う。その「入れ替え戦」において、仮に「リーグ5位」の大学が勝者の場合は「リーグ残留」、「下部リーグ2位」の大学が勝者の場合は「上部リーグ昇格」となる。

また「リーグ6位」大学は、自動降格（次年度、下部リーグ1位）となり、必然的に「下部リーグ1位」は自動昇格（次年度、上部リーグ6位）となる。但し、上位リーグ5位の大学が下部リーグ2位の大学に敗退した場合の次年度リーグの順位については、本年度当該リーグの順位決定戦の順位が、次年度の当該リーグの順位となる。つまり、「下部リーグ2位」となる。

「入れ替え戦」については、別日開催も検討（福岡県：グローバルアリーナハードコート）。